



平成27年 6月18日

各 位

会社名 日本テレホン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 執行役員  
高山 守男  
(東証 JASDAQ スタンダード: 9425)  
問合せ先 取締役執行役員 経理財務本部長  
茶谷 喜晴  
電話番号 06-6881-6611

## (訂正)「平成27年4月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、平成27年6月12日 15時30分に発表いたしました「平成27年4月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正を要する箇所がありましたのでお知らせ申し上げます。  
なお、数値データにつきましては、訂正はありません。

### 記

#### 1. 訂正内容

##### 【訂正前】

「2 ページ」

##### 1. 経営成績・財務状態に関する分析

###### (1) 経営成績に関する分析

###### ①当期の経営成績

当連結会計年度(平成26年5月1日から平成27年4月 **31日**まで)におけるわが国経済は、

---以下省略---

当社グループ(当社および連結子会社)の主な事業分野である移動体通信分野におきましては、市場が更なる成熟化を迎える中、各移動体通信事業者による低廉な通信サービスの提供に加え、スマートフォンを中心とした新機種の導入と「LTE(注1)」を始めとする次世代高速通信サービスの普及を通じ、エリアの拡大と通信品質の向上を背景とした顧客の獲得競争が一段と激しさを増すと共に、固定通信分野におきましても「FTTH(注2)」サービス等の光ファイバー回線を使用したテレビの視聴や「Wi-Fi(注3)」対応機器を介してのインターネットへの無線接続等、固定通信と移動通信、あるいは通信と放送との融合等、これら **ブロード回線** の利用を通じたサービス競争は、新たな局面を迎えております。

---以下省略---

「3 ページ」

(その他の事業)

当連結会計年度における **における** その他の事業のうち、中古携帯電話機「エコたん」の販売を始めとするリユース事業におきましては、

---以下省略---

「15 ページ」

###### (4) 会社の対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境は、移動体通信分野および固定通信分野の両分野において、市場は成熟化を迎える一方、スマートフォンやタブレット型端末機器の急速な普及通じ、次世代高速通信サービスの進展等、多種多様なビジネスチャンスが生まれるものと考えております。

---以下省略---

## 【訂正後】

「2 ページ」

### 1. 経営成績・財務状態に関する分析

#### (1) 経営成績に関する分析

##### ①当期の経営成績

当連結会計年度（平成26年5月1日から平成27年4月30日まで）におけるわが国経済は、

――以下省略――

当社グループ（当社および連結子会社）の主な事業分野である移動体通信分野におきましては、市場が更なる成熟化を迎える中、各移動体通信事業者による低廉な通信サービスの提供に加え、スマートフォンを中心とした新機種の導入と「LTE（注1）」を始めとする次世代高速通信サービスの普及を通じ、エリアの拡大と通信品質の向上を背景とした顧客の獲得競争が一段と激しさを増すと共に、固定通信分野におきましても「FTTH（注2）」サービス等の光ファイバー回線を使用したテレビの視聴や「Wi-Fi（注3）」対応機器を介してのインターネットへの無線接続等、固定通信と移動通信、あるいは通信と放送との融合等、これら**ブロードバンド回線**の利用を通じたサービス競争は、新たな局面を迎えております。

――以下省略――

「3 ページ」

（その他の事業）

当連結会計年度におけるその他の事業のうち、中古携帯電話機「エコたん」の販売を始めとするリユース事業におきましては、

――以下省略――

「15 ページ」

#### (4) 会社の対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境は、移動体通信分野および固定通信分野の両分野において、市場は成熟化を迎える一方、スマートフォンやタブレット型端末機器の急速な普及を通じ、次世代高速通信サービスの進展等、多種多様なビジネスチャンスが生まれるものと考えております。

――以下省略――

## 2. 訂正理由

「平成27年4月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の提出後に、記載内容の一部に誤りがあることが判明しましたので、これを訂正するものであります。

以 上